

2020 年 4 月 3 日

「製品／サービス」 オプテオン™ XP41 (R-463A-J) FC3 類容器承認取得

弊社の次世代低 GWP 冷媒オプテオン™ XP41 (R-463A-J)が、高圧ガス保安法容器保安規則第 2 条による FC3 類容器承認を取得したことを発表致します。

公益社団法人 日本冷凍空調学会 新冷媒評価委員会 掲載

<https://www.jsrae.or.jp/committee/reibaihyoka/hyokakekka.html>

R-463A-J は、R-463A の組成公差を FC3 類容器に適合するように管理した冷媒です。

R-463A は、公差内で最も高圧となる組成においては FC3 類容器の基準に準拠しないため、FC3 類容器に充填（回収）することはできません。

混合冷媒 の成分と 組成比 (mass%)	冷媒番号	R-463A				
	成分番号	R-744	R-32	R-125	R-1234yf	R-134a
	中心組成	6	36	30	14	14
	公 差	- 1.0 / + 2.0	- 2.0 / + 2.0	- 2.0 / + 2.0	- 2.0 / + 2.0	- 2.0 / + 2.0

混合冷媒 の成分と 組成比 (mass%)	冷媒番号	R-463A-J				
	成分番号	R-744	R-32	R-125	R-1234yf	R-134a
	中心組成	5.5	35	29.5	15	15
	公 差	- 0.5 / + 0.5	- 1.0 / + 0.5	- 1.5 / + 0.5	- 1.0 / + 1.0	- 0.5 / + 1.0

R-463A-J の公差は R-463A の範囲内です

弊社は、日本国内では 4 月中旬より R-463A-J をオプテオン™ XP41 として製造販売致します。

ご使用の際は、以下の点にご留意をお願いします。

- ① 当該冷媒は弊社が供給者であり、国内製造の R-463A-J のみを供給します。
- ② 容器への冷媒の種類表示は、当該容器の外面に「R-463A-J」と明示します。
- ③ 当該冷媒使用機器に対しては、冷媒の種類を R-463A-J と記載し、R-463A を初期・サービス時に封入しないよう、よろしくお願いします。

- ④ 既に市中にある R-463A 対応機器への追加充填に関しては、高圧ガス保安法の適用を受ける場合には R-463A 専用容器を使用してください。

尚、サービス用の R-463A については弊社にご相談ください。

高圧ガス保安法の適用を受けない場合には、他関連法令を遵守ください。

また機器メーカーの許可を得られれば R-463A-J（FC3 類容器）の使用は可能ですが、許可が得られない場合は、R-463A（専用容器）を使用してください。

既に市中にある R-463A の回収には、R-463A 専用容器を使用して頂く必要があります、FC 容器による回収はできません。

R-463A/R-463A-J の回収には自己認証済みの回収機をお使いください。

詳しくは、回収機メーカーにお問い合わせください。

お問い合わせは、弊社 環境冷媒営業部までお願い致します。

◆ お問い合わせ先

環境冷媒営業部

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 4-1-17

神谷町プライムプレイス

TEL：050-3823-0650

以上